

アスベストモニタリングマニュアル改訂骨子(案)

改訂骨子(案)		現行マニュアル (第 4.0 版 平成 22 年 6 月)	備考
はじめに		はじめに	
第 1 部 総論		第 1 部 総論	
1.1 アスベストの測定		1.1 アスベストの測定	
1.1.1 一般環境		1.1.1 一般環境	
1.1.2 解体現場等		1.1.2 解体現場等	
1.2 測定計画		1.2 測定計画	
1.2.1 測定の流れ		1.2.1 測定の流れ	
1.2.2 事前調査		1.2.2 事前調査	
1.2.3 測定計画の策定		1.2.3 測定計画の策定	
第 2 部 一般環境におけるアスベストの測定方法		第 2 部 一般環境におけるアスベストの測定方法	
2.1 資料の捕集方法		2.1 資料の捕集方法	
2.1.1 測定地点及び測定箇所の設定		2.1.1 測定地点及び測定箇所の設定	
2.1.2 捕集用装置及び器具		2.1.2 捕集用装置及び器具	
2.1.3 捕集条件		2.1.3 捕集条件	
2.1.1 捕集にあたっての注意事項		2.1.1 捕集にあたっての注意事項	
2.2 総繊維数濃度の算出		2.2 総繊維数濃度の算出	
2.3 測定方法各論		2.3 測定方法各論	
2.3.1 測定手順		2.3.1 測定手順	
2.3.2 位相差顕微鏡法 (PCM 法)		2.3.2 位相差顕微鏡法 (PCM 法)	
2.3.3 分析走査電子顕微鏡法 (A-SEM 法)		2.3.3 分析走査電子顕微鏡法 (A-SEM 法)	
参考資料 アスベスト繊維及び類似繊維の SEM 画像及び EDX スペクトル		参考資料 アスベスト繊維及び類似繊維の SEM 画像及び EDX スペクトル	
2.3.4 分析透過電子顕微鏡法 (A-TEM 法)		2.3.4 分析透過電子顕微鏡法 (A-TEM 法)	
第 3 部 解体現場等におけるアスベストの測定方法		第 3 部 解体現場等におけるアスベストの測定方法	
3.1 敷地境界等における測定方法			
3.1.1 試料の捕集方法		3.1 試料の捕集方法	
3.1.2 測定地点及び測定箇所の設定		3.1.1 測定地点及び測定箇所の設定	
3.1.3 捕集用装置及び器具		3.1.2 捕集用装置及び器具	
3.1.4 捕集条件		3.1.3 捕集条件	
3.1.5 捕集にあたっての注意事項		3.1.4 捕集にあたっての注意事項	
3.2 総繊維数濃度の算出		3.2 総繊維数濃度の算出	
3.3 解体現場における測定方法各論		3.3 解体現場における測定方法各論	
3.3.1 測定手順		3.3.1 測定手順	
3.3.2 位相差顕微鏡法 (PCM 法)		3.3.2 位相差顕微鏡法 (PCM 法)	
3.3.2.1 分析走査電子顕微鏡法 (A-SEM 法)		3.3.3 分析走査電子顕微鏡法 (A-SEM 法)	
3.3.2.2 分析透過電子顕微鏡法 (A-TEM 法)		3.3.4 分析透過電子顕微鏡法 (A-TEM 法)	
3.4 集じん・排気装置排出口やセキュリティゾーン 出入口での漏えい監視におけるアスベストの迅速な測定法			
3.4.1 試料の捕集方法			
3.4.2 測定法の各論			
3.4.2.1 位相差顕微鏡法 (PCM 法)			
3.4.2.1.1 分析走査電子顕微鏡法 (A-SEM 法)			
3.4.2.1.2 分析透過電子顕微鏡法 (A-TEM 法)			
3.4.2.1.3 位相差/偏光顕微鏡法			
3.4.2.1.4 位相差/蛍光顕微鏡法			
3.4.3 集じん・排気装置排出口からの漏えい監視			
3.4.3.1 粉じん相対濃度計による測定			
3.4.3.2 パーティクルカウンターによる測定			
3.4.3.3 繊維状粒子自動測定器等による測定			
参考資料 解体現場におけるその他迅速な測定方法の紹介		参考資料 解体現場における迅速な測定方法の紹介	
例 可搬型等の分析走査電子顕微鏡法		1 試料の捕集方法	
例 位相差/ラマン顕微鏡法		2 測定法の概要	
		例 1 位相差/偏光顕微鏡法	
		例 2 蛍光顕微鏡法	
		例 3 可搬型等の分析走査電子顕微鏡法	
		例 4 繊維状粒子自動測定器による測定	